

当院にて平成 26 年 11 月 17 日～平成 36 年 8 月 31 日までに、超音波内視鏡下吸引穿刺生検法を行った方へ

当研究に該当する方で、参加することを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

胃粘膜下腫瘍の診断・検査・治療方針に関する研究

【研究背景・目的】

20mm 以下の胃粘膜下腫瘍の症例を登録し、その経過を観察することにより、適切な検査法・経過観察期間・治療方針などの診療指針の確立を目指します。

【研究期間】

この研究期間は平成 26 年 11 月 17 日～平成 36 年 8 月 31 日までです。

【研究対象】

・対象者数：未定

・対象期間：平成 26 年 11 月 17 日～平成 36 年 8 月 31 日

・対象者：[1]内視鏡検査で径 2cm 以下の実質性胃粘膜下腫瘍と診断された症例

[2]過去に径 2cm 以下の実質性胃粘膜下腫瘍と診断され、follow up 中、あるいは治療を行った症例。粘膜下腫瘍と

は、GIMT (GIST、平滑筋腫、平滑筋肉腫、神経鞘腫)、脂肪腫、脂肪肉腫、迷入腺、カルチノイド、顆粒細胞腫を含む)

・取得情報：年齢・性別・内視鏡検査日(登録時)・内視鏡所見(部位、形態、色調、サイズ、可動性、クッションサイン)・

生検の有無

【研究方法】

20mm 以下の胃粘膜下腫瘍と診断、または治療歴があることが分かった時点で、診療録から年齢・性別・検査日・内視鏡所見・画像所見・組織診断などを登録します。その後、診療録を 10 年間追跡して、腫瘍の変化・治療の有無とその内容などを調べます。

【研究対象となる患者さんへの利益・不利益】

介入を伴わない「観察研究」で、診療録のみを用いた研究であるため、利益および不利益、危険性、健康被害、通常診療以外にかかる費用はありません。

【利益相反及び補償について】

私たちはこの研究によって特許や、企業からの寄付など経済的利益を得ることはありません。また、この研究は全て保険診療内の行為であるため、補償はありません。

【個人情報の取扱い】

カルテの情報やデータの管理はコード番号等で行い、あなたの氏名など個人情報が外部に漏れることがないようにします。また、プライバシー保護についても細心の注意を払います。

個人情報管理責任者は消化器内科 部長 赤星 和也です。

【研究組織】

・主任研究者：研究の総括

岡田 裕之 岡山大学病院 光学医療診療部 教授

・分担研究者：研究の指導

春間 賢 川崎医科大学 消化管内科学 教授

永尾 重昭 防衛医科大学校 光学医療診療部 教授

統計解析

樋之津 史郎 岡山大学病院 新医療開発研究開発センター 教授

研究の指導、データの管理

古田 隆久 浜松医科大学 臨床研究管理センター 准教授

症例登録、データの入力、解析、他施設との連絡を行う

岩室 雅也 岡山大学病院 総合内科

症例登録、データの入力

木田 光広 北里大学医学部 消化器内科 准教授

今村 祐志 川崎医科大学 検査診断学

佐藤 匡記 福島県立医科大学医学部 消化器・リウマチ膠原病内科学講座

関根 匡成 愛知県がんセンター中央病院 消化器内科

赤星 和也 麻生飯塚病院 消化器内科

新 美恵子 東京大学医学部附属病院 光学医療診療部

坂本 洋城 近畿大学医学部 消化器内科

和田 正浩 高崎 PET 総合画像診断センター 内視鏡内科

根引 浩子 大阪市立総合医療センター 消化器内科

河村 知彦 藤田保健衛生大学病院 消化管内科

ih 飯塚病院

innovate and evolve

森岡 千恵 奈良県立医科大学 消化器内分泌代謝内科

丸田 紘史 防衛医科大学校 第2内科

土山 寿志 石川県立中央病院 消化器内科

布袋屋 修 虎の門病院 消化器内科

阿部 展次 杏林大学医学部 外科

平澤 俊明 がん研有明病院 消化器内科

筑木 隆雄 姫路赤十字病院 内科

症例の登録を行う

日本消化器内視鏡学会会員

【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 消化器内科 部長 赤星 和也

TEL : 0948-22-3800 (代表)